

A—105 島根県農村における貧血多発地区の食生活

島根女短大 檀原そえ子
○石倉 陽子

1. 約10年間にわたる島根県農村地帯（平坦地，出稼ぎ地帯，山村，都市周辺等）の生活実態調査結果より，特に，農村主婦の労働過重とその対策の必要性を痛感していた。

その原因追求，疲労度の問題を考究しつつある矢先，安来市，簸川郡，八束郡三地区について，我々の生活実態調査に平行して，医学的調査が行なわれた。

そこで，我々は貧血に関する諸問題と食生活の関係について究明したい。

2. 上に述べた調査について，下記三地区を対象として考察を試みた。

A 安来市四カ地区，89世帯，昭和41年7月～8月

B 簸川郡斐川村三カ地区，27世帯，昭和42年8月上旬

C 八束郡宍道町二地区，61世帯，昭和42年12月

3. 以上，各地区の栄養摂取実態より，動物性蛋白質，及びビタミンA摂取と，貧血状況との関連につき，若干の知見を得たので報告する。